



# 熊本県立農業大学校

希望を耕し、未来を育む。  
共に歩む農業の道



## 農学部

- 農産園芸学科
- 農特産コース
- 花きコース
- 果樹コース
- 野菜学科
- 畜产学学科
- 酪農コース
- 肉用牛コース
- 研究科

## 研修部

- プロ経営者コース
- 実践農業コース



じかく じきょう じけい じち じそん  
**自覺 自彊 自啓 自治 自尊**

**教育方針**

次代の本県農業を担う優れた農業経営者の養成を図るため、農業に関する高度な知識及び技術と、将来の農業を担う者として必要な幅広い教養及び社会性を備えた人材を育成すること  
教育方針に定めています。

**農大教育 10のポイント**

- 1 プロジェクト学習により課題解決能力を高め、実践技術の習得ができます。
- 2 卒業生には、専門士(農業)の称号が付与されます。4年生大学への3年次編入(農学部)も可能です。
- 3 海外農業研修でファームステイや大規模農場視察等を通して、グローバルな農業を学びます。
- 4 県下の農大OB、指導農業士や農業法人等への派遣研修を行い、生きた経営理念や最新の栽培技術が学べます。
- 5 環境制御ハウスや農業機械の専用コース、食品加工施設など充実した施設で実習ができます。
- 6 GAP、農業用ドローン等のスマート農業など、新たな農業技術が学べます。また、大型特殊運転免許、けん引運転免許等が習得できます。
- 7 校内マルシェでの農産物販売や県内外からのゲスト講師による講義を通して経営感覚を学びます。
- 8 経営実習の時間を利用して、学生が自分で組み立てた校外研修(興味のある農家での研修や企業でのインターン活動など)ができます。
- 9 校内に学生寮を備えており、共同生活を通じて学生相互の親睦が深まります(入寮は希望制です。)。
- 10 日本学生支援機構の奨学金や卒業後農業に就くことを前提とした給付型の事業など、充実した修学支援が用意されています。

**農学部**  
**学科・コース**

	学部	学科	コース	定員	修業年限
農業専門課程	農学部	農産園芸学科	農特産コース		
			花きコース	30名	
			果樹コース		
	農学部	野菜学科	野菜Aコース	30名	2年間
			野菜Bコース		
		畜産学科	酪農コース	20名	
			肉用牛コース		
	研究科				
				若干名	1年間

これから新たに農業を始めたい社会人の方が就農するために必要な基礎技術や知識を学ぶ研修です。

**研修部****研修コース**

研修コース	定員	受講日・受講期間
プロ経営者コース	10名	週5日(月～金) 1年間(4月から3月)
実践農業コース	40名	週3日(月・水・金) 8ヶ月(4月から12月)

# 農大生の2年間

2年間に及ぶ充実した農大生活のスケジュール例を紹介します。

## 北部九州地区農大 スポーツ交歓会



## コースマッチ



## 就職支援セミナー



## 早苗饗（さなぶり）

農大の恒例行事のひとつで、全学生での田植え後、BBQを行い、盛り上がりります。

## 新緑の学園 学校見学会



## コース別研修

各学年とも、年間をとおして、各コースの特色に応じた先進施設や農家等へ視察研修を実施します。

## 緑の学園 オープンキャンパス



4月

## 入学式

農学部の学生及び社会人コースの研修生一同が会し、あらたな学びがスタートします。



5月

## 農家派遣研修(1年)

県内の耕志会（同窓会組織）で研修を行い、農大での学びの動機づけをします。（5月・11月）



6月

## 海外農業研修(2年)



7月

## 資格取得に挑む!!

毒劇物集中講座や家畜人工授精師講習会が実施されます。



8月

## 前期試験

## 九州地区農大 親善体育大会



## 農家等派遣研修(2年)

2年生はそれぞれの進路に合わせて農家や法人、企業等へ研修を行います。（5月）

## 各学科プロジェクト発表会(2年)

2年間、農大で実施した調査・研究をまとめ、2年生全員がプロジェクト発表をします。



## 卒業試験 (2年)

## 後期試験 (1年)

10月

11月

12月

1月

2月

3月

## 黒石原祭

農大の学園祭では、学生が生産した農作物やバザーの出店があり、毎年多くの来場者で賑わいます。また学生会で作り上げるステージも見ごたえがあります。



## 校内プロジェクト・意見発表会

各学科から選出された代表者による発表が行われます。1年生は意見発表の部、2年生はプロジェクト発表の部に分かれ、九州大会出場を目指して発表します。



## 退寮式 (2年)

## 卒業式

農大での2年間終えた2年生は、それぞれの進路へ向かいます。



# 農大生のクラブ活動

農大生が所属するクラブを紹介します。

## 体育系クラブ

- 野球
- 硬式テニス
- 陸上
- 剣道
- バトミントン
- バスケットボール
- バレーボール
- 卓球
- サッカー



## 文化系クラブ

- 野菜部「Markt」(マルクト)
- 茶道部
- ミルククラブ
- 機械部
- 食品加工部
- フラワーデザイン部





## 西日本有数の米どころ、作物の栽培技術を習得。

農特産コースでは、水田90a、茶園20a、畑10aのほ場を使用し、水稻、麦、大豆などの土地利用型作物のほか、茶などの工芸作物や転作・裏作としてのバレイショ、サツマイモなどの露地野菜を栽培しています。授業では栽培技術の習得だけでなく、トラクターや田植機、コンバイン、茶摘採機などの機械の操作方法、これら機械類の整備方法についても学びます。



### 農大生の声



46期生 西さん  
(南稜高校出身)

### 水稻の栽培技術や機械操作技術を勉強

入学時は、友人ができるか、勉学についていけるか不安でしたが、多くの友人ができ、勉学にも一所懸命取り組むことができました。これからの農業は若い農業者が主力となっていきます。自分に必要な農業の技術を学び、卒業後も同じ目的をもった友人と共に農業を頑張ってください。

### プロジェクト例 》 水稻におけるあいがも農法が生産環境や生育に及ぼす影響

水稻のあいがも農法により、ウンカなどの害虫の発生や土壤中の成分がどのように変化するかを調査し、生産環境に及ぼす影響を検証した結果、無農薬でもウンカの頭数減少が確認できた。



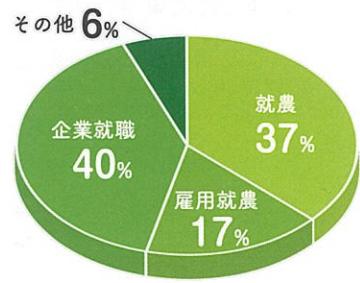
### 主な専門科目》 ■農特産栽培基礎 ■作物生産論 ■稲作概論

### 校外校内研修事例

- 機械操作研修(クボタアグリサービス(株))
- メンテナンス研修(ヤンマー農機ジャパン(株))
- 肥料研修(ジェイカムアグリ(株))
- 農薬研修(クミアイ化学工業(株))
- 精麦研修(西田精麦(株))
- 大豆加工研修(丸美屋(株))
- 農業法人研修(ネットワーク大津(株))

### 主な進路先 (R2~4実績)

- (農)すぎかみ農場
- 日本ニューホーランド(株)
- 農業協同組合
- 熊本大同青果(株)
- ヤンマー農機ジャパン(株)
- (株)コメリ





## 切り花の一大産地「熊本」で、花きの栽培技術を習得。

花きコースの温室は10棟あり、ひとつの温室を1名で管理します。ヒートポンプによる夜間冷房管理や、スポットクーラーによる冷房育苗を行っており、育苗から収穫まで一連の実習を年間を通して行います。近年注目されているIoT技術や、LED照明を使った研究にも取り組んでいます。

また、フラワーアレンジメントの技術向上にも努めており、フラワー装飾技能検定の資格取得にも取り組んでいます。



### 農大生の声

46期生 阪本さん  
(矢部高校出身)



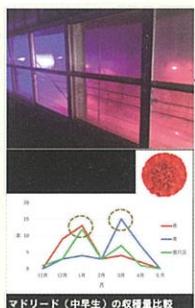
### 花を作って、売るのは楽しい

花きコースでは、花が好きな人にとって、実践的なスキルと専門的な知識を身に付けることができるコースです。栽培から販売まで経験することができ、何より自分の手で美しい花を栽培できることはとても楽しいです。

### プロジェクト例 〉 光源の違いがカーネーションの切花品質に及ぼす影響

光源の違いがカーネーションの採花時期と切り花品質に及ぼす影響について調査した結果、収穫時期は晩生以外で光源の違いが影響し、これらを活用することで一番花の開花促進や、早生や中早生の二番花を3月から5月の需要が高い時期に収穫できることが分かった。

これから、LED電球による開花調節を行うことで、電力を省力化したうえで、労力の分散や経営の安定化を図ることができると考えられる。



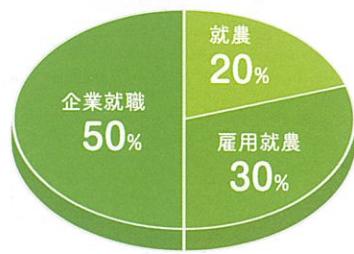
### 主な専門科目 〉 ■花き栽培基礎 ■花き生産各論 ■花き生産の新技術

### 校外研修事例

- 最新育苗技術研修((株)九州野菜育苗センター)
- 地域農業法人研修(ネットワーク大津(株))
- 大規模洋ラン法人研修((有)天川花園)
- 若手花き生産者研修(農大卒業生の2農園)
- 鉢物生産研修(宇城市の鉢物生産者)
- アレンジメント研修(花の美術館、くまもと花博)

### 主な進路先 (R2~4実績)

- ヤンマー・アグリジャパン(株)
- (株)ナーセリーズ
- (有)天川花園
- (株)緑研
- (株)One Flower





## 日本有数の柑橘産地「熊本」で、果樹の栽培技術を習得。

果樹コースではカンキツ20a（肥の豊、温州みかん、河内晩柑等）、落葉果樹38a（ナシ、ブドウ、モモ、クリ等）の栽培管理を通じて専門的な知識・技術の習得に努めています。

さらに、「肥のあかり」「熊本EC11」等温州みかんの根域制限栽培、「肥の豊」のわい性台木利用による高品質化、ナシのジョイント仕立て等、最新技術を取り入れた栽培にも積極的に取り組んでいます。



### 農大生の声

46期生 森下さん  
(熊本農業高校出身)



### 様々な果樹の栽培を体験できる

私は将来の経営に役立てるべく、カンキツを中心に約40品種の果樹の栽培管理を頑張りました。高品質果実生産のために、特に病害虫防除に力を入れました。農大では栽培技術だけでなく、経営など多くのことを学ぶことができ、有意義な時間を過ごしました。

### プロジェクト例 〉 「シャインマスカット」の花穂整形省力化と傘掛の有無が果実品質に及ぼす影響

「シャインマスカット」の結実部位に第一花穂を利用することは、果実品質を変えることなく慣行より花穂整形時間を70%削減することができ、花穂整形省力化に有効であると考えられる。

また、傘掛による果房の遮光は、成熟後期におけるシャインマスカットらしい果皮色の維持に有効であると考えられる。



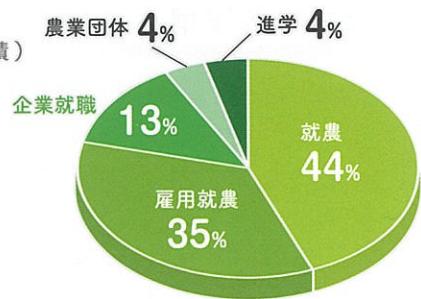
### 主な専門科目 〉 ■果樹栽培基礎 ■常緑・落葉果樹栽培論 ■果樹経営論

#### 校外校内研修事例

- 新技術研修(果樹研究所)
- 最新選果場研修(JA熊本市みかん選果場)
- 温州みかん高品質安定生産技術研修(熊本市生産者)
- 落葉果樹研修(錦町モモ・ナシ生産者)
- 高品質中晩柑生産技術研修(天草市生産者)
- 電気柵研修((株)末松電子製作所)

#### 主な進路先 (R2~4実績)

- JA熊本果実連
- JR九州ファーム(株)
- ヤンマー(株)
- (株)味咲
- 西九州青果(株)





## 野菜王国熊本で、施設野菜の栽培技術を習得。

野菜コースには、Aコース・Bコースと2コースあり、専門の講義では、野菜栽培の基礎知識や経営、栽培環境などについて学習します。

県の主要野菜である施設果菜類及び露地野菜の高収量・高品質・省力化等を目標としたプロジェクトを計画し、施設栽培は2名1ハウスを基本に栽培管理と調査研究を進めています。さらに、新品種の特性調査や、持続可能な農業でも活用される天敵利用等によるIPM(総合的病害虫管理)の実証等先端技術の取組みも行っています。



### 農大生の声

46期生 森崎さん  
(熊本農業高校出身)



### 農大での学びを活かし社会貢献

野菜学科では、トマトやナスなど主要な野菜について、栽培から収穫、データ分析まで幅広く実践的に学びます。また、友人や先輩との交流を通じて、深い理解と将来へのモチベーションを高めることができます。地域の農業を担うリーダーとして活躍する先輩たちの姿に刺激を受け、私も農大での学びを活かし、社会に貢献したい。

### プロジェクト例》ナス「PC筑陽」の仕立て方の比較

ナスの単為結果性品種「PC筑陽」に適した仕立て方の違いが収量及び品質に与える影響について調査。

4本仕立てが最も優れる結果となったが、2本仕立ても定植本数が多く、作業性及び苗代等のコストは劣ったものの、収量は優れており、コストを引いても経営的に問題はなく実用性がある結果となった。

#### 結果のまとめ

	生育	収量	果重	品質	作業性	移行	順位
对照区 (4本)	○	○	○	○	○	○	1
試験区1 (2本)	○	△	○	△	○	△	3
試験区2 (4本)	○	○	○	○	△	○	2

対照区>試験区2>試験区1の順に優れた  
(4本) (2本) (3本)

「PC筑陽」とは  
・矮がなく、単為結果性で作業性に優れている。

・交配せずに結果を出すが、結果しきると草勢が弱まることがあります、収量に影響が出る。



### 主な専門科目》■野菜栽培基礎 ■野菜栽培各論I ■野菜栽培各論II ■野菜栽培環境流通論

### 校外校内研修事例

- 新技術研修(高原農業研究所)
- 選果場研修(JA阿蘇トマト選果場)
- 販売研修  
(道の駅あそ、夢大地館、菊池のまんま菊陽店)
- 総合的病害虫管理研修  
(アリストライフサイエンス(株))

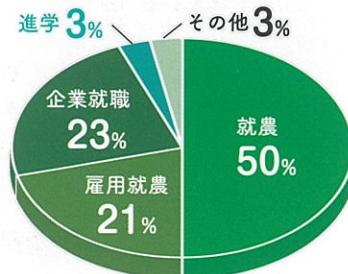
### 主な進路先 (R2~4実績)

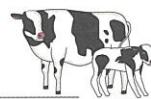
#### 主な就職先

- 農業協同組合
- ヤンマー農機(株)
- ヰセキ九州(株)
- (株)コメリ

#### 進学

- 東海大学





## 酪農コース

フリーストール・パーラー方式による搾乳施設で、牛群管理システムを活用した飼養管理技術を学ぶとともに、哺乳ロボットを利用した哺育・育成技術を習得します。また、TMR（混合飼料）製造施設にて、搾乳牛及び乾乳牛用の高品質な飼料調製技術を習得します。

### 農大生の声

### たくさんの出会い

同じ志を持つ仲間や派遣研修先の酪農家さんなど一生ものの出会いがありました。初めは、分からぬことばかりでしたが、実習などで、経験を積み酪農が好きになりました。農大での出会いを大切にし、畜産業界で頑張っていきたいです。



46期生 渡邊さん

(飛鳥未来きずな熊本キャンパス出身)



### プロジェクト例

### クラウド牛群管理システム機能のデータを活用した牛の疾病の早期発見は可能か

クラウド牛群管理システムにより、疾病の発見が可能であるかを検証した結果、反復時間によって牛の体調変化を早期に発見することができた。

このことから、本システムは疾病の早期発見、治癒の確認において、有効な手段であると言える。

目的：牛の行動変化から疾病を予測



### 主な専門科目

- 家畜飼養管理
- 家畜栄養学

- 家畜繁殖論
- 畜産概論

- 家畜衛生論
- 畜産経営論

- 家畜育種学
- 畜産ゼミ

ICT  
関連機器  
・施設



哺乳ロボット施設



スマート畜舎



牛群管理システム



分娩管理システム

# 先進的な畜産施設やICTを活用し、畜産経営の実践を学ぶ。

## 肉用牛コース

「褐毛和種」や「黒毛和種」の繁殖・肥育管理において、牛群管理システムや分娩管理システムを活用した先端の畜産経営を学びます。

更に、畜産GAPへの取り組み学習や人工授精技術向上のための繁殖研修に力を入れ、家畜管理に必要な知識・技術力・実践力を磨きます。

### 農大生の声 基本が身に付いた

畜産学科の肉用牛コースでは、詳しい飼養管理に加え、畜産経営に関する高度な知識を習得できました。この学びを通じて、就農や就職につながる実践的な基礎技術を身につけることができたと実感しています。



46期生 森田さん

(大分県立竹田高等学校出身)

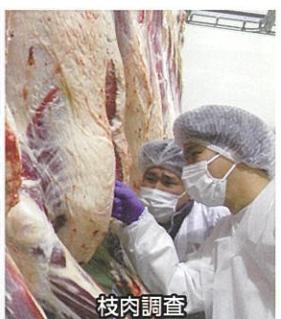
肉加工実習



畜産品評会出品



繁殖技術者研修(人工授精)



枝肉調査

### プロジェクト例 》肉用繁殖牛へのもみ米サイレージの活用

肉用繁殖牛への給与が普及してきているもみ米サイレージについて、給与プログラムや繁殖性への影響について調査した。適正量給与すれば繁殖成績に問題なく、既存の濃厚飼料給与と比べてコスト削減につながることが分かった。



もみ米サイレージ

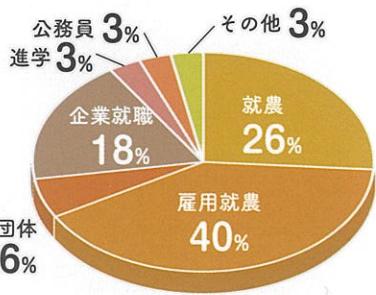
### 校外校内研修事例

- 褐毛和種の審査、市場取引（熊本県家畜市場）
- 大規模酪肉複合経営視察（球磨地域畜産農家）
- 放牧ICT技術導入牧野視察（阿蘇地域畜産農家）
- 畜産品評会出品（熊本県家畜市場）
- 乳用、肉用繁殖牛の削蹄（校内）

### 主な進路先 (R2~4実績)

- 熊本県畜産農業協同組合
- 熊本県農業共済組合
- (独)家畜改良センター
- 熊本県乳用牛群検定組合

農業団体  
6%



# 農大生の 1日

農大生の  
スケジュール例を  
紹介します。

## PROFILE

学生会長 西本さん（矢部高校出身）[46期生] 野菜学科 野菜Bコース



山都町出身で、実家ではピーマンやニラを栽培しています。家の手伝いをする中で、農業をもっと知りたい、学びたいと思うようになりました。農大へ進学することを決めました。農大では様々な地域から自分と同じように農業について学びたいと思う仲間がたくさん在籍しており、毎日たくさんの刺激があります。

## 消灯 おやすみ

友達とのお話も盛り上がってきましたが、もう寝る時間です。明日もあるので早く寝ましょうね。



## 寮夜点呼

22:00

## 自由時間

### 一日の中で一番楽しい時間

仲間たちと話したり、ドライブに行ったりなど楽しいことがたくさんあります。毎日楽しみにしている時間です。

## 夕食

16:20

## 放課後

### やりたいことをやる時間

アルバイトや部活動など様々な活動をしています。私は趣味のギターの時間です。



## 起床～朝食

ゆっくり朝の支度  
寮から校舎まで近いため  
ゆっくり準備ができます。  
毎日快眠です。

## 登校

7:40

## 昼食・昼休憩

### 寮食堂での美味しい食事

お昼ご飯は寮内の食堂で食べます。美味しいご飯を食べながら、仲間たちと話す時間はとても楽しいです。



## 経営実習

### 自分で決めた作物とテーマでプロジェクトに取り組む

野菜学科では、自分たちが栽培する作物やプロジェクトテーマを決めて、教官の指導のもと学生自身が栽培と調査を行う実習に取り組みます。また、自分で栽培した野菜の販売も農大マルシェなどで行います。



## 学生寮のご案内(希望制)



学生寮前景



学生寮食堂



寮居室



寮清掃

農学部の学生は、農大の敷地内にある学生寮「耕志寮」への入寮が可能です。

熊本の農業と関連産業を担う若者たちが集団生活を通して、豊かな人間性とかけがえのない友情を育み、一生の財産になる友人に出会うことができる「耕志寮」で学生生活の楽しい思い出を築いてください。

## 必要経費のご案内 (令和6年現在の概算額であり、変更となる場合があります)

本校在学中(2年間学生寮へ入寮した場合)の必要経費 約150万円<sup>\*1</sup>

入学金	授業料 (2年分)	海外農業 研修費(預り金)	寮・学習経費 <sup>*2</sup>	後援会・ 同窓会費	被服・ 教科書代	食費 <sup>*3</sup>	合計
5,650円	237,600円	300,000円	302,900円	121,000円	10万円前後	457,600円	1,524,750円

\*1…個人の通信費などの生活費や休日の食事代、資格習得に必要な経費は含まれません。 \*2…寮自室電気料(預り金)を含みます \*3…食費は、月～金まで寮で食事をとした場合(1,040円/日×20日×22ヶ月)

## ホームページのご案内

右のQRコードで農大のホームページにアクセスできます。

学生募集、農大のカリキュラムや学生のキャンパスライフ等の情報を掲載していますので、是非ご覧ください。



## 農大インスタ(熊本県立農業大学校耕志会)のご案内

各学科の学生の日常やイベント、耕志会(OB会)の情報など最新情報を届けします。  
右のQRコードでアクセスできます。



## 農大マルシェのご案内

学生と研修生が実習で生産した農産物や農産加工品を直接消費者に販売することを目的として、令和元年6月に「農大マルシェ」がオープンしました。この運営は学生主体で行われ、金曜日の午後2時に開店し、全学科の学生が当番制で販売実習を行います。

旬の野菜や果物等をお買い求めに来られる地域の方との交流の場として、また、マーケティングの実務の場として有効な活動となっています。

原則、校内でのマルシェ開催ですが、校外でのイベントへも出店し、学びを深めることもあります。



ロアッソの試合会場に出店

## 目指せる資格

大型特殊(農耕用)免許 / けん引(農耕用)免許 / フォークリフト技能講習 / 小型車両系建設機械運転特別教育 / 無人ヘリコプター操作(初級・中級I・II) / 産業用無人ヘリコプター・オペレーター資格 / ドローン・マルチコプター操作初級・中級 / ドローン・マルチコプター操作上級 / 家畜人工授精師免許 / 家畜商免許 / 毒物劇物取扱責任者(くらしと科学I) / 危険物取扱者(くらしと科学II) / 小規模ボイラー取扱技能講習(くらしと科学III) / フラワー装飾技能士3級・2級 / 日本農業技術検定3級以上 / アーク溶接特別教育講習

## 校外研修



梨のジョイント栽培研修(果樹)



トマト選果場研修(野菜)



農大育成牛の県市場出荷(畜産)

### ACCESS

- バス 熊本駅または熊本桜町バスターミナル乗車  
菊池温泉方面行き[約50分]  
「大池・農業公園入口」下車[徒歩約10分]
- 電車 熊本電鉄「御代志駅」下車 徒歩約23分
- 車 九州自動車道「植木 IC」から約11km[約25分]  
九州自動車道「熊本 IC」から約10km[約20分]  
九州自動車道「北熊本スマート IC」から約5km[約10分]

### お問い合わせ先

# 熊本県立農業大学校

〒861-1113 熊本県合志市栄3805

TEL.096-248-1188 FAX.096-248-4432

E-mail:nougyoudaigaku28@pref.kumamoto.lg.jp

